

会 議 録

1 会議名

第6回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)協議事項（公開）

- ①柿崎区地域協議会視察研修について
- ②自主的に審議する事項の提案について
 - ・柿崎区内の公共交通の在り方について

(2)報告事項（公開）

- ①懇談会実行委員会からの報告
- ②市からの報告
 - ・柿崎区農業構造改善センターの条例廃止と貸付の経過説明

(3)その他（公開）

- ・第7回柿崎区地域協議会の開催について

3 開催日時

平成30年9月18日（火）午後6時から7時01分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・委 員：金子正一（副会長）、薄波清美、太田健一、片桐充、加藤満、佐藤健、白井一夫、高野武夫、武田正教、榆井隆子、湯本清隆、吉井一寛
- ・事 務 局：柿崎区総合事務所 滝澤良文所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・

地域振興グループ長、山田幸江産業グループ長、柳澤一幸建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化グループ長、唐澤幸代地域振興班長、江村秀幸農政班長、高野美希主事(以下グループ長はG長と表記)

農村振興課 内山公治管理係長

8 発言の内容（要旨）

【佐藤次長】

- ・ 会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 小出会長が欠席のため、地方自治法第202条の6第5項の規定により、副会長が議長の職務を代行する旨を説明

【金子副会長】

- ・ 副会長挨拶
- ・ 会議録署名委員に湯本委員を指名

【金子副会長】

協議事項1に入る。

柿崎区地域協議会視察研修について、資料No.1を見ながら進めていく。

前回の地域協議会で視察先について、「みんなの保育園を考える会」と「地域の交通を考える会」からの提案はなく、他の委員からは、過去に候補にあがった、村上市や十日町市、板倉区などの意見も出たが、決められなかった。その後、正副会長と両委員長で話し合いを持った中で、「みんなの保育園を考える会」から、視察先の提案があったので、薄波委員長から視察案の説明をしていただく。

【薄波委員】

「みんなの保育園を考える会」では、柿崎区に暮らす方々にとっての利便性を考え、将来的にも柿崎区で生活をしたいと思ってもらえるような保育園のあり方

を考えてきた。保育園は、送り迎えや行事で園児のみならず、世帯の交流が生まれ、その地域の結束を生む存在だと当委員会では位置づけている。

老朽化や少子化の問題を抱えている柿崎区の保育園では、現在四つある保育園を今後も存続させる方向性で、それらの問題と向き合っていこうと検討してきた中で、小学校の余裕教室を保育園に活用している事例を知った。

文部科学省においては、廃校施設や余裕教室の有効活用を促進するために、一定の要件を満たせば、施設を所管する地方公共団体に対して手続きの弾力化や簡素化を図る制度改正も行っている。しかし、全国的には、活用の例はまだ少ない状況である。そこで、実際に施設を見て、担当された方々と話をしてみないと、柿崎区の保育園の参考になるか分からないと委員会では考え、資料No. 1にあるように、岐阜県関市で小学校の余裕教室を保育園に活用している事例を地域協議会の視察として訪問したいと考えた。

この関市の例は、少子化の進行や保育所施設の老朽化、都会の保育園ではないこと、柿崎区と似ているところもあり、参考になるのではないかと考えている。

【金子副会長】

薄波委員長から視察先についての説明があったが、この件について、質問や意見があれば願います。

私からお聞きしたい。この保育園は、昭和48年から開設されているということではよろしいか。

【薄波委員】

インターネットで取り寄せた資料しかないが、平成27年の4月4日に、設立の祝いの会がされているので、平成27年から開設しているのではないかと思われる。

まだ実際に関市とのやり取りはしていない状況で、方向が決まれば、行政を通じて交渉をしていただく。今はあまり情報がない。

【金子副会長】

みなさんから質問や意見はあるか。

柿崎区でも、少子化による児童数の激減化がすでに現実化している。それで、空き教室とか空き校舎が今後多く発生してくる可能性は推察できる状態である。

そんな中で、確かにその活用をどうしていくのか、どのように運用しているのか、先進事例先を訪れて研修することは非常に意義があるのではないかと、4人の打合せ会では意見があった。保育園を考える会でも、委員の総意と聞いているが、その辺も含めて、みなさんから何か意見があれば願います。

【吉井委員】

私も、「みんなの保育園を考える会」の委員の一人であるが、薄波委員長から報告があったように、小学校の児童数が減ってきた中で、空き教室が出てきて、それを活用するという意味では、いいんじゃないかと思っているが、調べてみると意外と事例が少ない。

新潟県はなく、長野県はあるが少ない。多いのは首都圏とか関西圏で、非常に幼児数が多く入りきらない。そういうところで逆に、小学校に無理やり保育園を併設するという例ならあるが、我々が目指している例とは違うため、探したところ、岐阜、宮城など、結構離れたところにしかない。

そこで、なぜ広がらないのかということも含めて、現地へ出向いて、我々の目で見て、実際にやっている方々からの意見や行政の話を聞いて参考にしたいので、ぜひみなさんのご賛同を得られればと思う。

【金子副会長】

ほかに意見はあるか。

【佐藤委員】

だんだん小学校自体も複式が増えてきているから、そういうところを使用するのか、この小学校は複式学級なのか。

【薄波委員】

先ほども申し上げたように、私たちが持っている情報はインターネット上の情報であり、見る限りでは小学校が複式かどうかはわからない。小学校がどうなっ

ているのかというのにも興味がある。

【金子副会長】

実際に行く先として決定すれば、こちらから色々な問い合わせができると思う。

【武田委員】

保育園を考える中で、今後どういう方法があるのか色々見てみないと分からない部分が多いと思う。目的があるなら行って見て、それから問題点を見出していけばいいと思う。

【太田委員】

色々議論されているようだが、やはり保育園を考えるということになると、人口減、佐藤委員が言われた小学校の複式学級なども課題の中に入ってくると思う。関市を視察してみようという提案であるので、みなさんと一度見聞した方がよいと思う。

今、小学校は非常に人数が減って、教室も空いているわけだから、多分複式学級になっているのではないかと思う。

【金子副会長】

色々な面で肯定的な、実施する方向の意見が多いようであるので、視察先として決めてよろしいか。

・委員から「はい」の声

先ほど太田委員が言われたように、見聞を広げるのもそうであるし、取組、運用、企画、もろもろ含めて、視察することとしたい。

視察の候補日を11月15日ということで進めていきたいと思うが、相手先の都合もあるので、その辺は事務局の方から折衝していただきたいと思う。第一案は11月15日、予備日が13日、14日とする。

協議事項2に入る。

自主的に審議する事項の提案について、地域の交通を考える会の委員長である吉井委員から、提案書の提出があった。説明していただく。

【吉井委員】

地域の交通を考える会は、昨年の暮れから約1年間、色々調査をしてきた。その中で、市長に対して意見書を出すべきだということに至った。それで今回、私の名前で提案書を作成した。

・資料No. 2を基に説明

今日、みなさんの了解を得られれば、最終的に意見書の作成に入りたいと思うが、我々の地域協議会の任期は再来年の3月で、あと1年半残っているのので、焦らずに、しっかりと検討し、できれば来年度の早いうちに意見書の作成、提出という形で進めていきたいと思っている。よろしく願います。

【金子副会長】

この件について、みなさんから意見や質問はあるか。

【太田委員】

非常にいい提案だと思う。

ご承知のように、柿崎区には公共交通懇話会というのがある。1年に1回、もしくは2回の会合で、長い間地域の交通を考えてきたわけである。

行政、地域住民、そしてまた公共交通事業者と、3者の代表者が集まりながら会合を持っているわけであるが、しっかりした意見や方向性のないまま今まできている。ただ、デマンドバスは、黒川・黒岩地区において、各集落に入っている。入っていない集落は、懇話会で話をしながら入れてもらったという経過もある。

柿崎区内は、まだ公共交通が入らない場所もあるわけなので、地域協議会でしっかり議論をし、そして懇話会と一緒にやりながら協議をしていただければ、よりよい公共交通の利用方法があるのではないかと思っている。

【金子副会長】

昨年開いた地域住民との懇談会の中で、3地区くらいから免許を返納した人とか、交通弱者の交通の足を何とかしてもらいたいという意見が出ていた。それに対して自主的審議という形で取り上げるということで異論はないか。

・委員から「異議なし」の声

自主的審議事項として進めさせていただく。

報告事項に入る。

- ・資料N o . 3 を基に金子副会長が報告し、委員に意見を求めるがなし

市からの報告に入る。

柿崎区農業構造改善センターの条例廃止と貸付の経過説明について、産業グループから説明をお願いする。

【山田G長】

柿崎農業構造改善センターについての、これまでの経過と今後の予定について報告させていただく。今日は、所管課の農村振興課内山係長と、柿崎区産業グループ江村班長が出席しているので、よろしく願います。

資料N o . 4 をご覧いただきたい。

ご承知のとおり、柿崎農業構造改善センターは、味噌加工などたくさんの利用をいただいているが、今年度末で施設の設置条例を廃止する予定である。今後は施設としては普通財産として残し、特に味噌加工などで利用度の高い農産加工室については、これまでどおり活動が継続できるように準備を進めている。

この件については、平成28年10月27日の地域協議会でも報告させていただいたが、この10月、来月に市からの諮問を予定しているので、今日は事前説明ということで資料を用意させていただいた。

【江村班長】

- ・資料N o . 4 を基に説明

【金子副会長】

質問や意見はあるか。

私から一点よろしいか。今後の施設利用の方向性について、「JAえちご上越はまなす支店の支援の下」と、その次の「市は利用組合の活動を側面的に支援」とあるが、この支援とはどういうことなのか。

例えばこの図面を見ると、農事研修室と農産加工室は利用するが、ほかの場所はほとんど利用しないから、維持管理、あるいは器具が壊れた場合にどうすみ分けをするのか。

【江村班長】

まず農協の支援ということだが、はまなす支店においては、支店共同活動というものがある。どんなことをしているのかというと、組合員の研修旅行であるとか、落語家の林家木久蔵さんが来て田植えや稲刈りをするだとか、そういう独自の活動をしている。農産加工室の活動についても、そういう位置づけの中で、一定の予算をもって支援していくと聞いている。

それから市の支援について、今考えているのは、例えば技術的な支援であれば、県の農業指導普及センターに加工の担当がいるし、新潟県農業大学校にも農産加工の指導をする部門があるので、そういうところの橋渡し等をしていければと思う。また、補助事業等、該当するものがあれば紹介していきたいと思っている。

施設が壊れたらどうするのかということや、機械などのことであるが、利用組合では28年に設立されてから、機械の修繕を見込んで会費を徴収して、積み立てている。

【金子副会長】

農産加工室だから、中の製造機器などは今の説明で分かったが、例えば、今屋根がかなり腐食している。ああいうものの修繕は、利用組合が負担するのか、JAが負担するのか。

【江村班長】

屋根はかなり錆びている。現状としては、まだ雨漏りはしていない。利用組合からも、屋根は何とかならないかという声は聴いている。今はどういう風にできるのか、検討している。

【吉井委員】

この建物と、中に入っている器具、あるいはエアコン、その他のもの、それら

の所有者はどこになるのか。

【江村班長】

こちらは市の建物であり、すべて市の財産である。

【吉井委員】

そうすると、それを市から借り受けるのはJ Aなのか、利用組合なのか。

【江村班長】

借り受けるのはJ Aである。

【佐藤委員】

市はお金をもらえるのか。

【江村班長】

貸付にあたっては、家賃が発生する。その一方で、土地についてはJ Aの土地であるので、市は地代を払うことになるが、おおむね差が出ない金額である。

【吉井委員】

施設は市の持ち物なので、持ち主が直さなければいけない。建物や器具が壊れたりしたら、これは市が直さなければならない。

【滝澤所長】

今日は経過を説明させていただいているように、もともこの施設は公の施設として集会施設であった。集会施設としての役割が終えたということで、条例上集会施設ではなくなる。そうすると建物は除却に向かう。基本的には壊すということである。

今回はみなさんと相談したら、ここで一生懸命加工をやりたいということであったので、公の施設ではない、いわゆる市の普通財産というものに変わる。当然のことながら、今までと同じことをして、維持修繕していくというのは難しくな

る。

そういう中では、今後どのくらいの期間になるか、私どもはできるだけ長くこの施設を使って、味噌を作っていたきたいという気持ちと、一旦貸付ける中で、設備まで市がやるのか、「側面支援」という言葉もあるが、市には六次産業化の補助金というものが別にある。味噌だけではなく様々なものに挑戦したい、新しくラベルを作りたい、というものについては市の別の事業があるので、私どもはそういうものも知恵を出し合いながら、側面支援をしたい。今ちょうど団体と色々なご相談をしている最中であるので、検討中ということでご理解いただきたい。

【金子副会長】

ほかに意見がなければ、この件についてはこれで締めさせていただく。

- ・平成30年度頸北地区地域協議会委員合同研修会の分科会割振りを決定
- ・その他の説明を事務局に願います。

【吉井委員】

その他に入る前に質問がある。

今年の夏は非常に暑く、特に小学校、中学校の教室が耐えられないほどの暑さだった。それで柿崎区内の小中学校の教室の、エアコンの設置状況と、今後の予定や計画について教えてもらいたい。

今日無理ならば、後日で結構である。

【滝澤所長】

次回、詳しいこととお話しするが、私も教育総務課というところにいたので、だいたいの全市的なものは分かる。

普通教室に冷房の入っているというのは、ごくわずかである。安塚の小学校、中学校は雪冷房。そして今回設置された有田小学校。ここ数年は、教職員のいる教務室で次が図書室、これらの冷房を順次進めてきた。小学校、中学校の全教室に扇風機が全部揃ったというのも、まだ4年ほど前だと思う。

その時点からの情報は分からないので、正確なところは次回報告させていただ

くが、全市的に見ると、まだまだ冷房というものはこれから考える段階にある。

【吉井委員】

今年の猛暑で、ご存知のように、国が小学校、中学校のエアコン設置について補助金を考えているという話が出ている。それが県として、上越市として、どうなっていくのかというのはみんな知りたいところなので、ぜひ調べていただいた後で、柿崎区はどうなのかというのを知りたい。よろしく願います。

【滝澤所長】

今回は、現状について詳細のご報告をさせていただく。国が予算を付けるという情報も承知しているが、市の31年度予算の内容をみなさんにお示しできるとしたら、来年の3月議会になることをご理解いただきたい。

【金子副会長】

ほかになればその他に入り、事務局から配布物の説明をお願いします。

【唐澤班長】

- ・配布物の説明

【金子副会長】

- ・第7回柿崎区地域協議会の開催について

日 時：平成30年10月16日（火）午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

- ・閉会を宣言

（午後7時01分閉会）

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。